

錦江中学校 開校に向けて



↑ 錦江中学校 校章の由来

「中」を囲む円形は半島に囲まれた錦江湾を表している。また、円形は団結、心の豊かさを表し、その中にローマ字で校名のK I N K Oを配し、国際社会への飛躍も期待している。支えの照葉樹の若葉は、伸び行く子ども達の姿と4校の統合体を表している。校訓である「自主」「友愛」「忍耐」の調和のとれた新たな中学実現のため「中」のたくましい字形を用いている。

神川孝志さんプロフィール

昭和18年2月21日生まれ。(64歳) 宮崎市に在住。鳥浜自治会出身で、神川小・中学校、南大隅高校を卒業後、宮崎大学学芸学部を経て宮崎県内の小学校教諭となる。その後、県教育庁の指導主事、学校長、宮崎郡清武町の教育長など、教育行政の要職を歴任された。現在は、宮崎市内教員養成学院にて活躍中。

2月27日、錦江町中学校統合推進協議会が開催され、大根占地区の4中学校が統合し、平成20年4月に開校する「錦江中学校」の校章が決定したほか、様々な事項について協議されました。(錦江町中学校統合推進協議会：教育委員、大根占地区の中学校長やPTA会長、PTA女性代表、地区公民館長の計34人で組織)

平成18年8月28日に、第1回校歌・校章検討部会を開催。選定方法などについて協議を行い、アンケートで校歌・校章の募集を実施しました。校章は、133人から応募があり、部会において10点の優秀作品を選定。その後さらに絞り込みを実施しました。最終的に2点の作品が推進協議会に提案され、委員の投票により、神川孝志さん(宮崎市在住64歳。錦江町鳥浜出身)の作品に決定しました。

校歌については、163人の応募があり、部会においてアン

校章・校歌

ケート結果をもとに専門家へ製作を委託することを決定しました。

作詞は、鹿児島作文研究会会長片山一郎氏、作曲を第一佐多中学校教諭寺原美紀氏へ委託。アンケート結果の錦江中学校へ期待、取り入れたい言葉をもとに作詞・作曲中です。



校章優秀作品に選ばれた小中学生に表彰



校章最優秀作品に採用された神川孝志さん(写真左)

教育方針

平成18年7月28日、第1回教育方針検討部会を開催。校訓などのアンケートを実施し、結果をもとに審議を行ってきました。結果は次のとおりです。(報告書から一部抜粋)

● 校訓

「自主」「友愛」「忍耐」

● 教育目標

心身ともに健康で、自ら学び考え行動し、個性豊かでたくましく生きる力を備えた生徒を育成する。

合言葉・スローガン
「礼を正し、場を清め、時を守る。」

● めざす生徒像

① 自主：自ら考え、主体的に活動する生徒

② 友愛：思いやりのある心豊かな生徒

③ 忍耐：心身ともに健康で、最後までやり抜く生徒

● めざす学校像

① 「明るい学校」：明るく、和

に満ちた活気ある学校

② 「花と緑と歌声にあふれる学校」：情操豊かな学校

③ 「個性の花咲く学校」：環境が整備され、一人一人が生きて

生きと輝く学校

④ 「信頼される学校」：保護者